

産業建設常任委員会調査報告書

1 調査事件

交流人口の拡大について（平成 28 年 6 月定例会で報告）

2 調査目的

町は第 2 次庄内町総合計画（平成 28 年度～令和 7 年度）で、70 万人の交流人口を 10 年後の令和 7 年度には 100 万人を目標値にしている。そのための主要施策の中で、宿泊施設の誘致、道の駅設置・レストラン事業による効果について報告を行った。その後の取り組みの経緯や成果について検証することとした。

3 調査経過

令和 2 年 3 月 9 日（会期中）

令和 2 年 3 月 11 日（会期中）商工観光課、農林課より聞き取り

令和 2 年 3 月 18 日

令和 2 年 4 月 2 日 現地聞き取り調査（道の駅しょうない風車市場
やくけっちゃんの）

令和 2 年 4 月 15 日

令和 2 年 4 月 27 日

令和 2 年 5 月 8 日

令和 2 年 5 月 22 日

4 検証結果

(1) 宿泊施設誘致の可能性について

[前回の意見]

近年、日本を訪れる外国人が急増しており、特にアジア圏域からのインバウンドの追い風がある。それに伴い 2020 年の国の外国人観光客目標は、2,000 万人から 4,000 万人へと上方修正されている。町でもこれら国の動向を注視すべきである。

議会としては、第 2 次庄内町総合計画基本構想・基本計画について、平成 27 年度審査特別委員会で審査し「観光・交流人口や観光宿泊者数の拡大には、宿泊施設が不可欠である。新規宿泊施設を積極的に誘致すべきである。」と意見を付している。庄内町観光振興計画アクションプラン(平成 27 年度～平成 29 年度)、第 2 次庄内町中心市街地活性化計画、第 2 次庄内町総合計画の観光宿泊者数のベンチマーク等、各計画を達成するためには新規宿泊施設が必要である。

ア 宿泊施設誘致の可能性に関する実態調査

(ア) 町内への宿泊動向アンケート調査

庄内町企業同友会のご協力を頂き、ビジネスで来町する人の宿泊動向調査を実施した。結果は資料 3 の通りであり、ビジネス利用者のうち 7 割強が本町に新たな宿泊施設があれば利用するとしている。観光やイベント時以外のビジ

ネス需要での数値であり参考にすべきである。

(イ) 宿泊施設の誘致に係るアンケート調査

町内宿泊施設経営者のご協力を頂き、今年度実施する滞在体験型観光客の増加を図るための宿泊動向調査や今後の可能性調査の実施について、アンケート調査を実施した。結果は資料4の通りである。回答は7施設のうち3施設より、率直なご意見を頂いた。

今回、調査事件に関する2つのアンケート調査を実施した。町は、今後実施予定の宿泊動向調査や可能性調査の結果を分析し、新規宿泊施設誘致に向けて具体的に検討すべきである。

イ 町の支援策

企業誘致に関する支援策には「庄内町企業振興条例」があるが、この条例の対象企業者は、日本標準産業分類に掲げる大分類Eの製造業及び町長の特に認める事業を営む者となっている。この条例を宿泊業も含む内容に見直すべきである。

また、既存宿泊施設事業者が事業拡大・拡充を図れるよう、新たな支援策を検討すべきである。

[検証の結果]

ア 宿泊施設誘致の可能性に関する実態調査

(ア) 町内への宿泊動向アンケート調査

町では、今後の宿泊施設の動向を探るため、既存の宿泊施設事業者6人から宿泊施設誘致についてヒヤリングを行っている。そのなかで将来の事業経営の継続性についても調査し、経営者側からは後継者等の課題もあり、5施設からは継続的な経営は厳しいとの回答であった。

(イ) 宿泊施設の誘致に係るアンケート調査

町では、新規宿泊施設誘致に向けた具体的な検討がすでにスタートしており、地域未来投資促進法の基本方針に基づき、山形県が「山形県観光分野基本計画」を策定し国の承認を得たことを受け、町では平成31年2月に事業者に対し地域経済牽引事業「観光と宿泊施設の拡充」についての説明等を行っている。

町は、令和2年度当初予算に宿泊施設整備促進事業として、国の地方創生交付金を活用し、補助額を事業費の1/4の上限3000万円とし、同時に既存宿泊施設事業者のために同様な観点から上限500万円（小規模事業者持続化補助金併用可能）の併せて3500万円を計上した。計画では、本年度6月には事業者を決定し年度内の完成を目指している。（資料1 募集要項）

イ 町の支援策

企業振興条例を見直し大分類Eの他に宿泊施設を加え、町長の認めるところの企業誘致とするより、前述の地域未来投資促進法による事業展開の方が事業者にとって参入がしやすいとの判断から、企業振興条例の見直しは行っていない。

(2) 道の駅の設置による効果について

[前回の意見]

ア 来客数拡大に繋がる魅力づくり

- (ア) 特産品の開発や充実した商品陳列にするために、出店会員の拡大を図る必要がある。出店会員の拡大は町内生産者に限定しないで、特徴ある商品を取り扱う町外の生産者や業者にも拡大し、庄内地方の玄関口としての役割を構築すべきである。
- (イ) 島根県邑南町「瑞穂」では安全安心を求める消費者ニーズに応じて、トレーサビリティシステムが導入されており、消費者が QR コードでも直接確認できるシステムを導入していた。安全安心が産直市場の特徴に繋がるよう検討すべきである。
- (ウ) 島根県雲南市「おろちの里」では生産者団体である「槻之屋ヒーリング」が通年供給可能な体制づくりを構築していた。県・農協等専門機関との連携を図り供給体制の強化を図るべきである。
- (エ) 雲南市「農家レストランふる里亭」では、産直市場で販売する珍しい野菜を隣接する農家レストランで食べることができ、相乗効果を上げていた。参考にすべきである。
- (オ) 併設される農村レストランは、地元主婦グループによる運営と地元産食材を使った手作り料理で、親しみやすく手軽なメニューにすべきである。
また、惣菜の直接販売や、町の新規事業「高齢者向け野菜集配事業」を活用して販売するなど検討すべきである。
- (カ) 道の駅の特徴としては、トイレ休憩だけの利用者も多くいる。時間がない利用者が気軽に立ち寄れるよう、店先での販売を充実させるべきである。
- (キ) 道の駅は、これまでの産直市場に加え農村レストラン、道路や観光の情報発信機能も併せ持つ施設となる。駅長は、道の駅全体をマネジメントできる人材を選任すべきである。

[検証の結果]

ア 来客数拡大に繋がる魅力づくり

- (ア) 出店会員は、平成 28 年 10 月の設置当初に 76 人でスタートし、目標を 100 人とした。平成 30 年では 95 人（うち町内 67 人、町外 28 人）で、令和 2 年 3 月現在では 101 人（うち町内 73 人、町外 28 人）となり、目標の 100 人に達している。

そのなかで、退会者と新規参入者の入れ替わりはあるが意欲のある出店会員が増え、山くらげやイタリア野菜（ロマネスコ）など特徴ある農産物の品揃えも図られている。

産直、食堂の売り上げ状況では、平成 28 年 10 月の設置以来、着実に伸びてきており、令和元年度売り上げで、約 1 億 280 万円に達している。（資料 2 道の駅売り上げ状況）

また、令和元年 12 月からはキャッシュレス化に対応し、ペイペイ決済も可能とするなど来客者の利便性を図り、道の駅としての機能強化に努め庄内地方の

玄関口としての役割も徐々に充実してきている。

一方、来客数の推移についてはレジカウントベースであるが、冬季間の12月から3月までは毎月7000人ないし8000人程度と落ち込むが、この月以外は毎月1万1000人から1万6000人台で推移しており、交流人口は年間約20万人を超えている。

(イ) QRコードによるトレーサビリティシステムは採用していないが、安全安心な農産物を提供していくことは消費者への信頼につながることから、農産物の生産過程等を明確にしておくことについては、基本的に個々の生産者の管理責任としながらも、追跡可能な連携が図られている。

(ウ) 通年の商品供給体制は重要であるが、出店会員はそれぞれの農協と一定のかかわりをもっていることから、各農協との組織として連携は行っていない。

冬季間における品不足等については、ハウス営農者に直接出向き出荷等の依頼をするなど品揃えを工夫している。

また、ほかの道の駅の直売所と連携し、冬野菜を中心に柑橘系果物等についても融通してもらうなど品揃えに努め、売り上げ向上を図っている。

(エ) 産直市場で販売している野菜は、食堂で食べることはできないが、料理の食材として食堂で使用されている。また、食品ロスを避けるため令和2年2月より保冷庫を導入し、より効率的な農産物販売に努めている。

(オ) 施設内の食堂いどりは、地元の主婦グループによる経営となっており、メニューには地元食材や山菜を使用するなど、特に3種類の餅（汁餅、あんこ餅、きな粉餅）が人気となっている。

当初、国の地方創生交付金を活用してスタートした高齢者向け野菜集配事業は、平成30年度で終了し、現在は町の自主財源が充当されている。現在、宅配会員が34人、宅集会員が18人で清川から立谷沢地区の集配が中心となっており、週1回実施している。あわせて、高齢者の見守りも兼ねた事業となっていることから、業務にかかる時間等の見直しも必要となっている。

(カ) 産直市場前の店頭販売施設は特に常設されていないが、イベント開催時には特設スペースを設置し店頭販売を行っている。また、他の道の駅でキッチンカー等による移動販売を行っている方々との連携を図るなど、立ち寄り客も含めた集客に取り組んでいる。その他にも施設内の交流スペースを活用し第2日曜日にはソーシャル風車市場を自主企画するなど、さらなる集客に努めている。

(キ) 平成29年4月1日より指定管理者の代表が駅長となり常駐体制となっている。

(3) レストラン事業による効果について

[前回の意見]

レストラン「やくけっちゃん」の経営は、㈱イグゼあまるめが行っているが、この事業は、町の運営コンセプトにより事業が進められた経緯がある。このことを踏まえ町は運営に責任を持つ必要がある。

当初の目的である「食のアンテナレストラン」としての事業展開を図り、農商工連携による具体的な計画を立て「食に関すること」を魅力にして誘客拡大に繋げる仕掛けづくりを検討すべきである。

ア 農商工連携による具体策

視察地の邑南町では、「食」を切り口とした「農林商工等連携ビジョン」策定委員会を設置し、3つの柱からなる「農林商工等連携ビジョン」5カ年計画を策定した。そして、その一環として「A級グルメ構想」を打ち出し良質な農林産物を素材とする、そこでしか味わえない食や体験を、生産者や利用提供する人が誇りとおもてなしの心を持って行うことを「A級グルメ」と称し、多くの地域おこし協力隊を起用するなど、新たな食と農の関係性を創り上げることで賑わい、地域の活性化に繋げていた。

本町には、米・水・山菜・和からし・ずいき芋・枝豆・庄内豚等豊かな自然ならではの食材が数多くある。それらを活用したメニューを新たに検討すべきである。

また、地域おこし協力隊等を活用した新たな視点で再認識に繋げる取り組みや、個々にいる生産者や団体とのコラボレーションなど、新しい発想と転換を生み出す仕組みと運営コンセプトを再構築すべきである。

[検証の結果]

平成26年6月4日に新産業創造館クラッセに内設したレストランを「庄内 Meat you やくけっちゃん」^{おおしまきょう}として、奥田政行氏（アル・ケッチャーノのオーナーシェフ）の監修のもと、東京ソラマチで腕を振るった大島今日シェフをアドバイザーとして「株式会社イグゼあまるめ」が営業を開始した。そのコンセプトを焼肉&イタリアンとし、庄内豚や地場野菜を活用した地産地消を旗印に、中心市街地の活性化の一翼を担う新規事業としてスタートした。

当初は、ランチとディナーの両方を提供するなど町外からの交流人口拡大にも寄与してきたが、夜の利用客が想定したほど見込めず、平成28年からは夜の営業は予約制で運営してきた。あわせてメニュー等の見直しや営業努力も積極的に行いながら運営してきたが、経営収支は厳しい状況が続いた。（資料3 レストラン利用状況）

一方、経営改善を図るため「株式会社イグゼあまるめ」ではレストラン運営のあり方等について、会社側から役員5人、外部から3人の経営者・識者を招集し、計8人による運営検討委員会を立ち上げ、令和元年8月から令和2年1月にかけて、個別検討会3回、内部検討会3回の計6回の意見聴取を行っている。

「株式会社イグゼあまるめ」では、この運営検討委員会での意見を踏まえ、レストラン「庄内 Meat you やくけっちゃん」の今後の経営について検討してきた。

その結果、事業継続の判断期限を令和2年度の上期とし、経営収支の赤字幅が50%以上改善しない場合は、同年10月にはレストラン事業から撤退することを決定した。

しかし、令和2年2月下旬以降、全国的に広がった新型コロナウイルス感染拡大の影響で、来店者の落ち込みが加速し、営業継続が難しいとの判断から、10月を待たず令和2年5月31日でレストラン「庄内 Meat you やくけっちゃん」の閉店を決定した。

ア 農商工連携による具体策

本町では、クラッセやタチラボの6次産業化工房を中心に加工食品による、お土産品の開発に力を入れており、これらを商品化することで地元農産品の利用拡大に寄与できるとしている。

また、新メニューの開発については、新産業創造協議会とタチラボの地域おこし協力隊で開発した「庄内町のほしがきさん」や、クラッセの6次産業化工房で開発された酒粕ドレッシング等があり、クラッセ内の「なんでもバザールあっぱ」で販売されている。

また、レストラン「庄内 Meat you やくけっチャーの」では、地場産野菜を使ったサラダに酒粕ドレッシングを使用したり、新メニューとして庄内豚のしゃぶしゃぶを提供するなど、地産地消をめざしたメニュー開発にも取り組んできた。

町は、当初からレストラン運営を公募で決定した事業者がテナントで運営するとしており、視察地の邑南町のように「食」を切り口とした農商工連携や、地域おこし協力隊を活用することについては取り組んでいない。

(案)

募集**町内の宿泊施設 新設や増改築に補助します！****令和 2 年度 庄内町宿泊施設整備事業**

第 3 次観光振興計画に掲げる「稼げる観光産業づくり」の具現化と滞在交流型観光地域づくりを推進するため、地方創生推進交付金事業として、民間事業者が行う宿泊施設の整備事業を支援します。

1 補助対象者

補助対象者は、次のいずれにも該当する民間事業者とします。

- (1) 町内に宿泊施設を新築する者又は町内の既存宿泊施設を増改築する者
- (2) 地域経済牽引事業者として県知事の承認を受けた者

※「地域経済牽引事業者」とは、地域未来投資促進法（地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律）に基づき、民間事業者が策定する地域経済牽引事業計画について県知事の承認を受けた者

2 補助対象事業、補助対象経費及び補助金の額

補助の区分	募集件数	事業内容	補助対象経費	補助金の額
新築	1 件	10 以上の客室を新築する事業	建物、附帯設備及び構築物に係る工事費（設計費を除く）	補助対象経費の 4 分の 1 以内 上限 30,000 千円
増改築	1 件	既存施設の客室数又は収容人数を 2 割以上増加する増改築を行う事業		補助対象経費の 2 分の 1 以内 上限 5,000 千円

（注 1）宿泊施設は、旅館業法に規定する旅館・ホテル営業の用に供する施設であること。ただし、風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に規定する店舗型風俗特殊営業に該当する施設又は宗教活動若しくは政治活動を目的とする事業を行う施設を除く。

（注 2）新設及び増改築とも、第三者に営ませる場合を含む。

（注 3）補助を受けた場合、最低 5 年以上は宿泊施設の営業を行うこと。

3 申請手続き

次の書類を 5 月 29 日（金）まで商工観光課観光物産係に提出してください。

【提出書類】

- ①申請書
- ②事業計画書
- ③収支予算書
- ④工事概要のわかる書類（土地図面・建設工事図面及び現状写真など）

提出書類①、②、③は、町 HP 又は観光物産係にあります。

4 事業採択決定

事業申請された方について審査を行ったうえで事業採択をします。

5 補助金交付スケジュール

- ・募集締め切り 令和 2 年 5 月 29 日
- ・事業採択決定 令和 2 年 6 月中旬
- ・補助金交付申請 工事着工 15 日前まで
- ・完成予定日 令和 3 年 2 月中旬

詳しくは

庄内町商工観光課観光物産係（クラッセ）
TEL 0234-42-2922
FAX 0234-43-6422
E-mail : shokokanko@town.shonai.yamagata.jp

道の駅「しょうない」風車市場 売上等状況

資料2	令和2年3月末現在												
◎売上金額	単位：円												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H26年度	1,295,601	1,830,226	1,846,416	1,590,072	2,085,673	1,662,957	2,211,288	1,830,855	2,045,467	976,100	1,154,200	1,690,800	20,219,655
H27年度	1,813,343	2,053,900	1,919,100	1,742,800	2,379,000	1,848,400	2,297,200	1,924,400	2,218,100	1,009,200	1,100,800	1,784,900	22,091,143
H28年度	1,825,520	2,357,100	2,237,784	2,098,166	1,849,050	992,140	12,818,878	8,222,819	5,564,559	3,213,225	3,999,349	6,076,718	51,255,308
H29年度	6,868,097	8,931,042	7,425,999	7,055,075	10,482,573	7,084,158	9,922,493	7,308,451	5,329,450	3,452,260	4,199,802	6,451,362	84,510,762
H30年度	7,492,490	8,777,385	8,002,166	8,114,952	10,603,932	8,273,538	10,717,700	8,750,964	6,131,654	3,590,080	4,543,794	6,715,582	91,714,237
H31年度	8,209,511	11,135,918	7,491,027	8,729,856	11,907,851	9,341,555	10,611,674	9,823,900	7,660,149	5,090,975	5,511,808	7,317,170	102,831,394
道の駅産直	6,626,721	9,094,298	5,994,847	7,048,556	9,799,301	7,570,155	8,841,064	8,216,670	6,495,759	4,080,005	4,334,798	6,014,190	84,116,364
道の駅食堂	1,582,790	2,041,620	1,496,180	1,681,300	2,108,550	1,771,400	1,770,610	1,607,230	1,164,390	1,010,970	1,177,010	1,302,980	18,715,030
前年比	109.6%	126.9%	93.6%	107.6%	112.3%	112.9%	99.0%	112.3%	124.9%	141.8%	121.3%	109.0%	112.1%

◎来店客数(レジカウント)

	単位：人												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H26年度	1,709	2,060	1,692	1,647	2,335	2,092	2,042	1,682	1,505	1,124	1,399	1,996	21,283
H27年度	2,167	2,494	1,897	2,033	2,594	2,378	2,285	1,871	1,805	1,151	1,360	2,173	24,208
H28年度	2,423	2,884	2,367	2,578	2,138	1,277	15,383	10,145	6,373	4,463	5,207	8,028	63,266
H29年度	9,813	12,620	10,096	10,788	15,270	10,346	12,659	9,662	5,932	5,025	6,267	9,072	117,550
H30年度	11,550	12,805	11,939	12,761	14,580	11,825	13,951	10,622	6,366	5,132	6,612	9,710	127,853
H31年度	11,505	15,854	10,247	12,498	16,882	12,852	12,619	11,128	7,543	6,882	7,810	9,649	135,469
道の駅産直	9,146	12,791	7,959	9,898	13,599	10,136	10,019	8,684	5,808	5,328	5,989	7,641	106,998
道の駅食堂	2,359	3,063	2,288	2,600	3,283	2,716	2,600	2,444	1,735	1,554	1,821	2,008	28,471
前年比	99.6%	123.8%	85.8%	97.9%	115.8%	108.7%	90.5%	104.8%	118.5%	134.1%	118.1%	99.4%	106.0%

◎入込数

H27年度	3,175	3,671	3,168	3,369	3,899	3,327	3,193	2,719	2,731	1,930	2,466	3,272	36,920
H28年度	3,469	4,574	4,032	4,160	3,689	1,874	27,711	17,773	10,519	7,502	7,866	13,179	106,348
H29年度	17,442	21,526	17,279	19,529	26,601	18,027	22,593	15,606	9,475	8,171	9,927	14,741	200,917
H30年度	18,717	20,923	18,920	20,133	22,412	19,852	22,412	17,286	10,454	8,137	10,389	15,872	205,507
H31年度	19,058	26,510	16,510	19,962	26,480	21,102	20,312	18,725	12,513	11,253	12,499	15,521	220,445
前年比	101.8%	126.7%	87.3%	99.2%	118.2%	106.3%	90.6%	108.3%	119.7%	138.3%	120.3%	97.8%	107.3%

* 道の駅「しょうない」風車市場は平成28年10月8日(土)にオープン。営業日数は24日

* 道の駅産直の売上金額には屋内外での特別販売(玉子、鯛物等)に係る売上金額を含む。

* 農産物交流施設風車市場は平成28年8月24日～9月28日は仮店舗での営業。8月21日～8月23日、9月29日～10月7日は引越しのため休業

* 入込数は平成28年9月まではカウンター計測による。道の駅オープン後は産直レジカウントに平日1.5倍、土日祝日2.5倍を掛け、食堂券売機カウント等を足した人数としている。

・3月の推事は、なし(イベント自粛のため)

・3月の産直1日平均売上金額は194,006円(前月149,476円)。客単価は787円(前月724円)

・3月の食堂1日平均売上金額は42,032円(前月40,587円)。客(食券)単価は649円(前月646円)

資料 3

レストラン「庄内 Meat you やくけっちゃんの」利用客数の推移
(A・・・ランチ B・・・カフェ C・・・ディナー)

年度	月別利用客数と客単価				月別 累計総数 (人)
	H28年度 (人)	H29年度 (人)	H30年度 (人)	R元年度 (人)	
4月	982	1,117	972	830	3,901
5月	1,027	1,060	1,378	1,026	4,491
6月	1,248	944	1,696	1,000	4,888
7月	1,122	942	1,457	985	4,506
8月	1,582	1,453	1,705	1,595	6,335
9月	1,270	1,033	854	1,199	4,356
10月	1,216	940	932	938	4,026
11月	1,126	836	1,016	962	3,940
12月	1,144	801	654	870	3,469
1月	1,003	724	826	936	3,489
2月	835	485	785	769	2,874
3月	1,095	1,077	1,183	862	4,217
合 計 (C利用客)	13,650 (1,961)	11,412 (2,121)	13,458 (2,284)	11,972 (2,038)	50,492 (6,404)
客 単 価 平 均	A	1,187 円	1,220 円	1,079 円	1,149 円
	B	773 円	905 円	775 円	1,027 円
	C	3,217 円	3,246 円	3,183 円	2,768 円